

調べ方ガイド 「原子力発電所を廃止するべき？」

By.岡山芳泉高校図書館

※ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。出典明記もお忘れなく！

関係する官公庁

- ・内閣府 原子力委員会（国の原子力利用の基本方針の策定） <http://www.aec.go.jp/>
- ・環境省 原子力規制委員会（原子力利用の安全確保に必要な施策の策定・実施） <http://www.nsr.go.jp/>
- ・経済産業省 資源エネルギー庁（原子力を含むエネルギー政策・統計情報） <http://www.enecho.meti.go.jp/>
- ・文部科学省 放射線対策 http://www.mext.go.jp/a_menu/anzenkakuho/index.html

最初に読みたい基礎資料

【キーワードで調べる】

- ・『現代用語の基礎知識』自由国民社 [031]
- ・『朝日キーワード』朝日新聞出版 [813.7]
- ・『現代社会の最新時事 2013～14 年版』学研教育出版 [307]

【基本と論点を知る】

- ・『日本の論点』文藝春秋 [304] ※ほぼ毎年、論点として取り上げられている。

理解するための本・雑誌・Web サイト

山口幸夫（2012）『ハンドブック 原発事故と放射能』岩波書店. [543.5]

「福島第一原発の事故の実態、構造の欠陥、制御の困難さを述べ、放射能と被ばく、エネルギーについての基礎知識を解説する。年間被ばく当量と危険度、エネルギー変換効率などの最新データ表も。」

漆原次郎（2011）『原発と次世代エネルギーの未来がわかる本』洋泉社. [501.6]

日本と世界の原発の現状、商業利用に伴う周辺問題など、原発の実態をより深く、より広く知りたい時に。

和田長久ほか（2011）『原子力・核問題ハンドブック』七つ森書館. [539.03]

日本と世界の原発の現状、商業利用に伴う周辺問題など、原発の実態をより深く、より広く知りたい時に。

竹田敏一（2011）『知っておきたい原子力発電』（図解雑学）ナツメ社. [539]

純粋に原子力の基本的な知識を得たい時に。

参考になる Web サイト

- ・原子力百科事典 ATOMICA（財団法人高度情報科学技術研究機構） <http://www.rist.or.jp/atomica/>
- ・電気事業連合会 <http://www.fepec.or.jp/>（「情報ライブラリー」で電力統計情報や用語集などを公開）
- ・環境防災 N ネット（文部科学省） <http://www.bousai.ne.jp/vis/index.php>（原子力防災に関する情報など）
- ・日本原子力研究開発機構（JAEA） <http://www.jaea.go.jp/>（3.11 原子力事故参考文献情報・リンク集など有）
- ・日本原子力産業協会（JAIF） <http://www.jaif.or.jp/>（日本と世界の原子力情報、3.11 後の世界の原子力動向なども）
- ・原子力環境整備・資金管理センター <http://www.rwmc.or.jp/>（放射性廃棄物に関する国内外の情報）
- ・原子力安全基盤機構（JNES） <http://www.atomdb.jnes.go.jp/>（国内外のトラブル情報なども有）

経済産業省『エネルギー白書』 ※オンラインで見ることができます

「エネルギーをめぐる課題とその対応、国内外のエネルギー動向について紹介し、平成 23 年度に講じた施策概況をまとめる。」

※オンラインで見える場合：資源エネルギー庁 (<http://www.enecho.meti.go.jp/index.htm>) →エネルギー白書

原子力資料情報室(2012)『原子力市民年鑑 2011-12』七つ森書館。[他館資料]

データでみる日本の原発や、国内外の原発を取り巻く状況を掲載。ありとあらゆるデータがまとまっています。

日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット(2011)『EDMC/エネルギー・経済統計要覧(2011年版)』

省エネルギーセンター。[501.6]

提供される電力に原子力発電が占める割合や原子力エネルギーの消費量(世界主要国)、エネルギー源別発電電力量の推移など、「基本データから需要部門別、エネルギー源別の各種統計、世界の経済指標、CO2 排出量、超長期統計」を網羅。それぞれ、非常に詳しい数値が分かります。

図書ピックアップ (これはほんの一部。他にもたくさん関連する本があります。NDC「543.5」は要チェック！)

【震災後の本から】

- ・小野善康(2013)『エネルギー転換の経済効果』(岩波ブックレット) 岩波書店。[501.6]
- ・澤田哲生(2012)『目で見て分かる！放射能と原発』双葉社。[他館資料]
- ・協阪紀行(2012)『欧州のエネルギーシフト』(岩波新書) 岩波書店。[501.6]
- ・原子力環境整備促進・資金管理センター(2012)『諸外国における高レベル放射性廃棄物の処分について』
経済産業省資源エネルギー庁。[539.69]
- ・大島堅一(2011)『原発のコスト エネルギー転換への視点』(岩波新書) 岩波書店。[539.09]
- ・古川和男(2011)『原発安全革命』(文春新書) 文藝春秋。[他館資料]
- ・野口邦和(2011)『原発・放射能図解データ』大月書店。[他館資料]
- ・飯田哲也ほか(2011)『今こそ、エネルギーシフト』(岩波ブックレット) 岩波書店。[543.5]
- ・小出裕章(2011)『原発のウソ』(扶桑社新書) 扶桑社。[543.5]
- ・広瀬隆(2011)『FUKUSHIMA 福島原発メルトダウン』(朝日新書) 朝日新聞出版。[543.5]

【震災前の本から】

- ・吉岡斉(2011)『原発と日本の未来』(岩波ブックレット) 岩波書店。[543.5]
- ・石川憲二(2010)『自然エネルギーの可能性と限界』オーム社。[他館資料]
- ・矢沢潔(2008)『原子カルネサンス エネルギー問題の不可避の選択』技術評論社。[543.5]
- ・西尾漠(2006)『新版 原発を考える 50 話』(岩波ジュニア新書) 岩波書店。[543.5]
- ・原子力資料情報室(2002)『検証 東電原発トラブル隠し』(岩波ブックレット) 岩波書店。[543.5]
- ・天笠啓祐ほか(1992)『原発はなぜこわいか 増補版』高校生文化研究会。[543.5]
- ・田中三彦(1990)『原発はなぜ危険か 元設計技師の証言』(岩波新書) 岩波書店。[543.5]

- ・雑誌……「週刊朝日」、「AERA」、「Newsweek」など。バックナンバーもチェックしてみよう！
- ・新聞……山陽新聞、朝日新聞、毎日新聞(過去 2 年間分を保存しています)

※県立図書館による「原子力関連図書リスト」を用意しています。たくさんの資料が紹介されていますので、ぜひ参考にして下さい。

資料のお問い合わせは図書館まで♪

ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。レポートへの出典明記もお忘れなく！